

カーゴバイクで実現する持続可能なまちづくり

(株)藤田住環境計画・(有) クリオシティ

カーゴバイクってどんな自転車？

- カーゴバイク (Cargo bike) とは、荷物を運ぶことができる自転車で子供なども一緒に乗ることができる。
- カーゴバイクには、様々な種類があり、欧州で一般的なタイプは、前輪に荷台が付いたタイプで、重い荷物を運ぶのに適している。その他に、三輪型や後輪に荷台が付いたタイプ、ロングテール型、リヤカー型 (牽引タイプ) など多様なタイプが存在している。
- 日本の普通自転車の規格に合ったタイプは少ないため、軽車両に該当する。



欧州におけるカーゴバイクの急速な普及

EU全体

- 2019年以降、3年間でカーゴバイクの平均保有台数は4倍以上に増加。
- 2022年にはヨーロッパ全土で40-50万台 (25億€・3,750億円分) のカーゴバイクが販売された。
- 87%の物流企業が配送にカーゴバイクを利用し、ほとんどが中小企業で地元で雇用を生み出している。物流企業の平均従業員数は3倍に増加し17万人の雇用が創出された。4分の1近くが女性。
- 年間302,000トンのCO2を削減
- EU38都市でカーゴバイクシェアリングが導入 (2023年6月現在)
- 24の補助金制度等により10,500台以上のカーゴバイクが購入された。(2022)

ドイツ

- 売上高は1億7500万ユーロ (約265億円)、2021年から2022年にかけて56%成長している。
- 営業用カーゴバイクおよびトレーラーを年間27,200台販売
- 今後5年間で年率30%の成長を見込む。

フランス

- 2019年から3年間でカーゴバイクの売上が10倍。
- 補助金制度 (2020年以降) で7300人の購入者
- 補助額は、価格の50%あるいは、上限額が通常のカーゴバイクは500ユーロ、e-カーゴは600ユーロ。

カーゴバイク活用によるメリット【効果】

カーボンフリー (エネルギーの転換)

カーゴバイクは、人間が動力を供給するゼロエミッションの輸送手段でCO2を排出しない。実際、ディーゼル輸送車に代わる1台のカーゴバイクは年間5トンのCO2を節約できる。

公共空間の解放→路上駐車・渋滞の削減

自動車に比べ空間を占有しないため、渋滞や騒音、路上駐車削減になり、公共の空間を自動車から解放することが可能。→ウォークラブルな都市空間の創出にもつながる。

交通事故対策→ビジョン・ゼロ

路上駐車が減るカーゴバイクの大規模な導入は、現在死亡事故の14% (EU) を占めているバンやトラックの台数を減らすことになるため、積極的な安全対策となる。

経済的持続可能性→コスト削減

自動車に比べて、初期費用、メンテナンス費用が安いいため、経済的な持続可能性が望める。

配達時間の短縮 (小回りが効く・一方通行・駐車場所)

災害時の物流手段

物流人材の確保 (免許不要)

カーゴバイクの活用事例



横浜における活用事例



カーゴバイクのインフラ

